

2009年6月16日

ランクセス、タイヤのエコ化を促進する欧州議会の決議を歓迎

ランクセス株式会社

- タイヤの新しい表示規制は、燃料効率の向上、二酸化炭素排出量低減、さらなる安全性向上への重要なステップ
- 2011年以降、新車に対し低燃費タイヤの装着が義務化

特殊化学品メーカーのランクセス(LANXESS)は、安全性と環境に配慮をした自動車タイヤの装着を義務化する欧州議会の決議に対し、歓迎することを発表しました。ランクセスは、世界有数の合成ゴムおよびゴム薬品のメーカーです。欧州議会は、環境にやさしいタイヤの使用を促進することにより、欧州における二酸化炭素排出量を大幅に削減することにつながります。

タイヤメーカーは、ランクセスの最先端の高性能ゴム製品を使用することにより、欧州議会において決定された安全で環境に配慮したタイヤに関する厳しい水準を、規制前の現時点で、すでに満たすことができます。ランクセスでは、新規規制が欧州のタイヤ産業だけではなく、同社にとっても長期的な成長を大きく後押しすると予測しています。

欧州議会(本会議場:フランス・ストラスブール)は、2012年以降、タイヤに燃料効率、ウェットグリップ、回転騒音に関する詳細表示を義務づけるという決議を4月22日に可決しました。タイヤは最高性能のAクラスから、最も劣るGクラスにまで分類されます。消費者は、この表示を環境に関する指標として参考にし、タイヤを購入することができるようになります。専門家によると、欧州のタイヤ市場は、古く摩耗したタイヤの交換が75%を占めるため、この制度はタイヤ業界とランクセスのようなタイヤ素材のサプライヤーにとって重要です。

すでに3月中旬に欧州議会は、2011年以降の新車に低燃費タイヤの装着義務化を決定しています。昨年1年間だけでも欧州において1,500万以上の新車が登録されています。この規制は、自動車の安全性および環境適合性の向上を目的としています。

欧州議会は、段階的に規制を実施することで自動車業界における導入を図ります。欧州議会で決定されたこの2つの決議は、さらに欧州連合理事会の承認が必要とされます。欧州委員会によると、車のタイヤ性能は燃費の20%に影響を与えます。つまり、給油回数にして5回に1回分がタ

イヤ性能により消費されることとなります。今後 25 年間で、世界の自動車台数は 2 倍になると予測され、燃費の効率化と気候変動を抑制する革新的なタイヤ技術の普及が必須となります。ゴム業界の技術リーダーであり開発の原動力でもあるランクセスは、合成ゴムにおいて世界で最も幅広い製品群を揃えています。

低燃費と安全性の最大化

ランクセスの高性能ゴムでつくられたタイヤは、転がり抵抗を低減し、結果的に燃料の節約につながり、環境にやさしい製品です。燃料消費の効率化により二酸化炭素排出量、および環境への負荷も低減します。全ての自動車がこのようなタイヤを装着すると、欧州だけでも年間約 60 億リットルの燃料が節約でき、二酸化炭素排出量は約 1,500 万トンを低減することができます。さらに、ランクセスの革新的な技術によって、安全かつ耐久性も向上できるというメリットもあります。ランクセスが製造するハイテク材料によって、タイヤ技術の 3 つの重要な条件（低い転がり抵抗、優れたウェットグリップ（短い制動距離）、長寿命）が同時に可能となります。

適切なゴム化合物で差別化を実現

ランクセスは、革新的ハイテクゴムの有数なサプライヤーとして、研究開発を重要視しています。変性ゴムグレードは、環境に配慮したタイヤに大きな役割を果たしています。最適化を図る 1 つの可能性は、タイヤトレッドへのシリカ充填材の適切な混合、つまり、ゴムコンパウンドのシリカ配合の向上です。

ランクセスが、現在開発段階にある最新世代のソリューションスチレンブタジエンゴム (SSBR) では、ゴムコンパウンドにシリカ充填材を配合する過程で、さらなる改良が実現しました。その結果、製品寿命の延長、路面のグリップ力向上、転がり抵抗の低減、摩耗低減が可能となりました。これに加え、ランクセスは、環境に配慮したゴム混合オイル使用のゴムグレードを提供出来るため、2010 年に施行される欧州連合の環境規制に準拠できる数少ないメーカーの 1 つとなります。

さらに、ランクセスのブチルゴムは、インナーチューブとチューブレスタイヤの内部ゴム層において空気圧を保持するために重要な役割を果たしています。適切なタイヤ空気圧を維持することは、燃料節約と二酸化炭素排出量の削減に貢献するだけでなく、安全性においても大きな鍵となります。

ランクセスのゴム薬品も環境に配慮したタイヤの製造で貢献しています。例えば、添加剤「ブルクレン (Vulcuren®)」は、タイヤトレッドを強化し、最大の負荷環境下においても老化の影響を抑えます。その結果、タイヤのウェットおよびドライ滑り抵抗は安定します。

ランクセスのナノブレン：小さな粒子で大きな効果

「ナノブレン (Nanopren®)」は、シリカ含有タイヤトレッド向けのランクセスの新製品です。この革新的な高性能ゴム添加剤は、タイヤの耐摩耗性を一層向上させます。さらに、タイヤのグリップ性

能を維持しながら転がり抵抗を低減するため、燃料消費を 15%程度、向上させます。この開発の鍵は、ナノプレンの粒子のサイズと表面構造にあります。特殊な製造プロセスでつくられたこの添加剤は、粒径が約 50 ナノメートルのゴムの粒子で構成されています。このナノ粒子の表面は活性化され、シリカ充填材と相互に作用します。これはタイヤ産業において、画期的な開発と言えます。

グローバルタイヤメーカーの大半に供給

ランクセスの昨年の総売上高の約 4 分の 1 はタイヤ業界向けのゴム製品が占めています。特殊化学品メーカーであるランクセスは、グローバルタイヤメーカーの大半にゴム、可塑剤、架橋剤、老化防止剤、加硫促進剤を供給しています。

100 年の実績と最先端技術

ランクセスは、合成ゴムとゴム薬品の開発および製造において 100 年の実績を誇っています。1909 年に化学者、フリッツ・ホフマンが初めて合成ゴムの製造プロセスを開発して以来、合成ゴムはタイヤ技術に欠かせないものとなっています。ランクセスは、合成ゴムを発明したホフマンの精神を引き継ぎ、ゴム製品の革新を促進し続け、前述したような製品を絶え間なく開発しています。最新の技術を駆使し、ランクセスは交通安全と気候保護の持続的改善に大きく貢献しています。

#

このリリースは、ドイツ・レバークーゼンで4月22日に発表されたリリースをもとに、ランクセス株式会社が発表したものです。

このリリースの原文(英語)は、以下のURLにてご参照下さい。 <http://www.press.lanxess.com>

ランクセスについて

ランクセスは、世界23カ国で事業を展開する大手特殊化学品メーカーです。2008年の総売上は65億8,000万ユーロにのぼり、全世界の従業員数は約 14,600人、世界中に44の拠点を展開しています。主な事業は、プラスチック、合成ゴム、中間体、特殊化学品の開発、製造とマーケティングです。ランクセスについての詳細は同社URLにてご確認下さい。 <http://www.lanxess.co.jp>

本件に関するお問い合わせ先:

ランクセス株式会社 コーポレートコミュニケーションズ

佐野 公美

TEL : 03-5293-8005 FAX : 03-5219-9773

kumi.sano@lanxess.com

免責について (Forward-Looking Statement):

このニュースリリースには、ランクセス経営陣による現在の仮定と今後の予測に基づく記述があります。既知あるいは未知の各種リスクや不確定性、その他の要素により、本頁に記載された予測と弊社の今後の総合売上高、財務状況、業績の数字が異なる場合があります。弊社は、ニュースリリースの記載事項を更新、もしくは今後の出来事や進展状況に合わせ、内容を変更する義務はないものとします。

(2009-00091J)